

# 平成24年度第2回消費生活eモニターアンケート調査

## 「家庭におけるカビの調査」

### 目 次

第1章 調査の概要	・・・P2
1 調査目的	
2 調査方法	
3 調査期間	
4 調査対象	
5 回答者の属性	
第2章 調査結果	・・・P3
第3章 まとめ	・・・P10

【以下のホームページも是非ご覧下さい。】

◎ かながわの消費生活  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f100548/>

## 第1章 調査の概要

### 1 調査目的

消費生活課で実施する生活科学研究ネットワーク推進事業（くらしの安全の確保のための試験・調査研究の実施、結果の情報提供）に関する調査の一環としてアンケートを実施しました。

### 2 調査方法

ホームページ上でのアンケート調査  
前半(15問)・後半(16問)に分け、片方のみ回答した場合も、有効回答として集計しています。

### 3 調査期間

平成24年11月26日(月)から平成24年12月6日(木)まで

### 4 調査対象

消費生活eモニター：200名 回答者：151名

### 5 回答者の属性

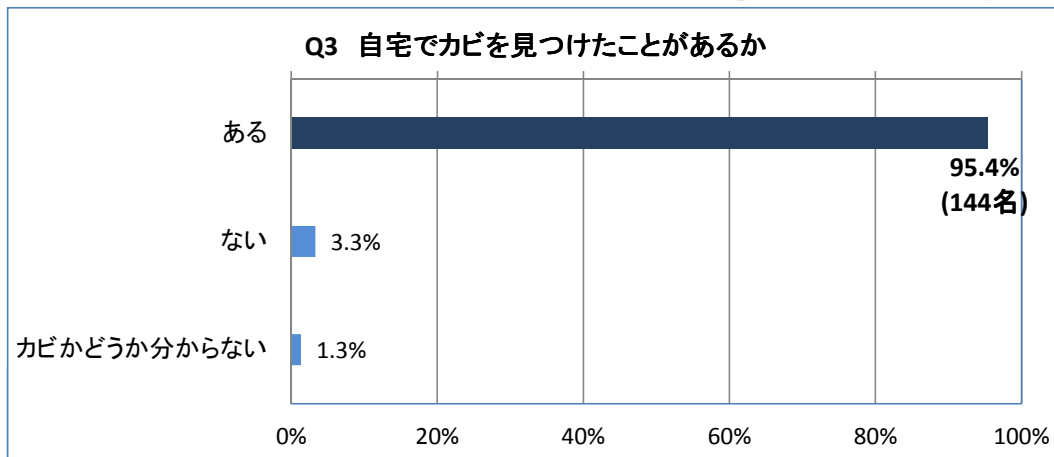
性別	男性 46名	女性 105名
年齢	20歳代	7名(男性：3名 女性：4名)
	30歳代	43名(男性：8名 女性：35名)
	40歳代	47名(男性：13名 女性：34名)
	50歳代	23名(男性：7名 女性：16名)
	60歳代	25名(男性：11名 女性：14名)
	70歳以上	6名(男性：4名 女性：2名)

## 第2章 調査結果

- ・集計はQ3からです。（Q1・Q2はモニターの属性を確認する項目のため）
- ・複数回答のある設問では、比率の合計が100を超える場合があります。
- ・無回答がある場合、比率の合計が100に満たない場合があります。

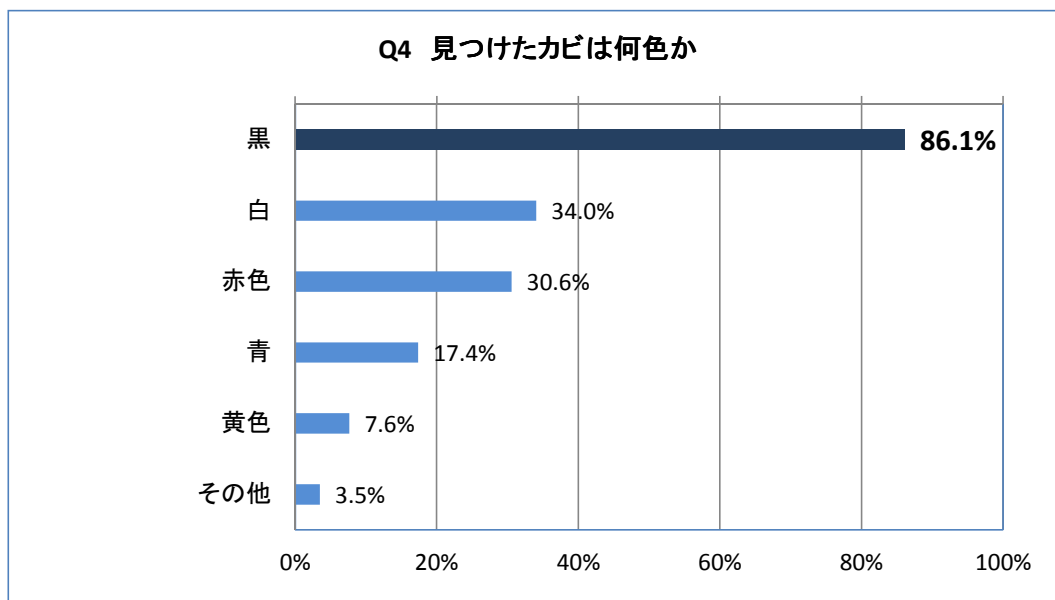
### 1 家庭で見つけたカビについて

**Q3** 『自宅でカビを見つけたことがあるか』たずねたところ、全体の9割以上にあたる144名が「自宅でカビを見つけたことがある」と回答しました。



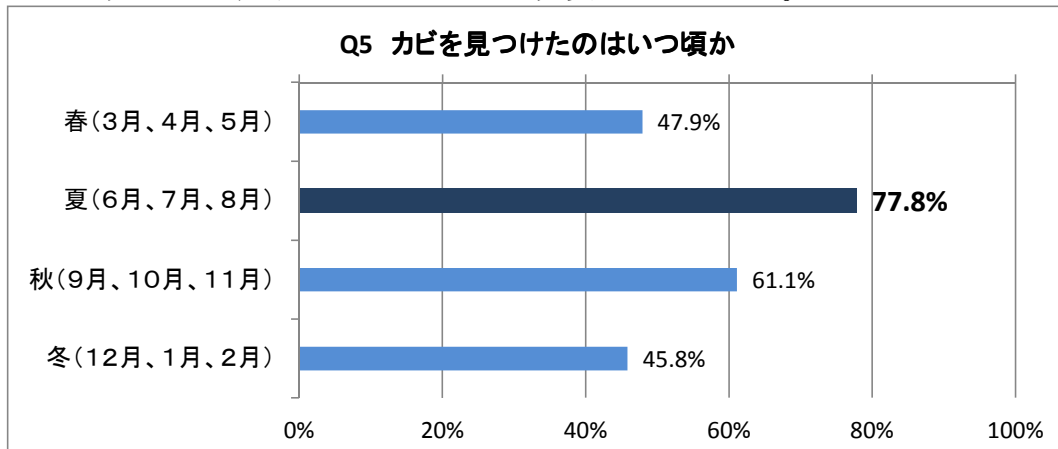
**Q4** [Q4～Q9は、Q3で「自宅でカビを見つけたことがある」と答えた144名へ聞きました。]

『自宅で見つけたカビの色は何か』たずねたところ（複数回答可）、  
「黒」が8割を超えて最も多い回答となりました。次いで、「白」「赤色」  
が3割台で多く見られました。

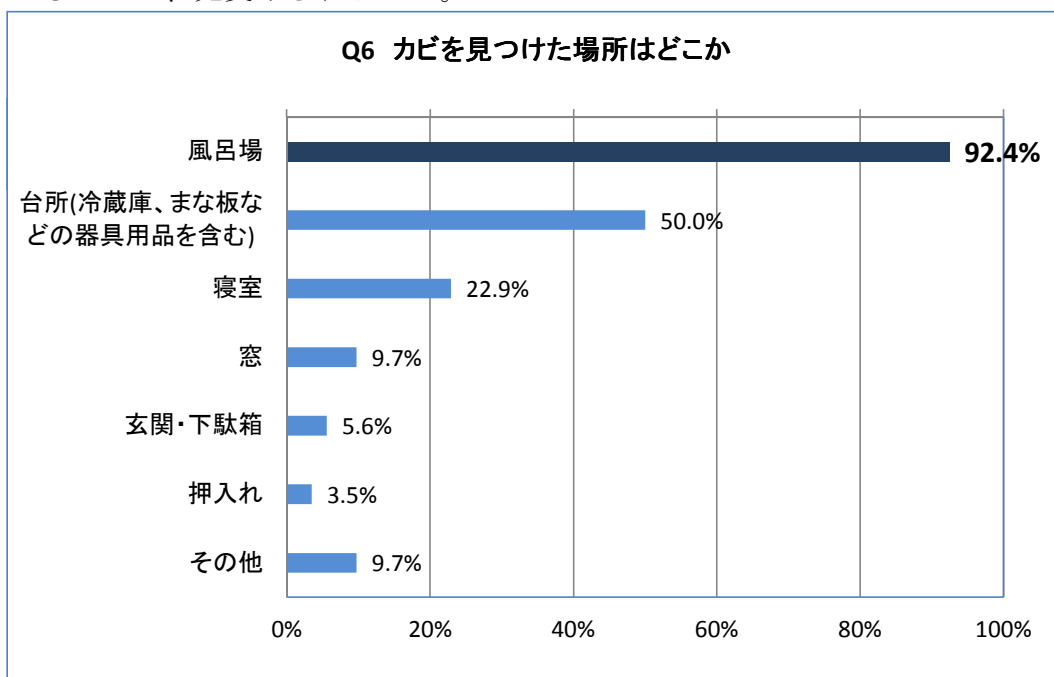


※その他では「緑」などが挙げられました。

**Q5** 『カビを見つけたのはいつ頃か』たずねたところ（複数回答可）、「夏（6、7、8月）」が7割を超えて最も多い回答となりました。「春（3、4、5月）」の4割台の約1.6倍となっており、気温があがるとともに、カビが発生しやすくなっていることが見受けられました。

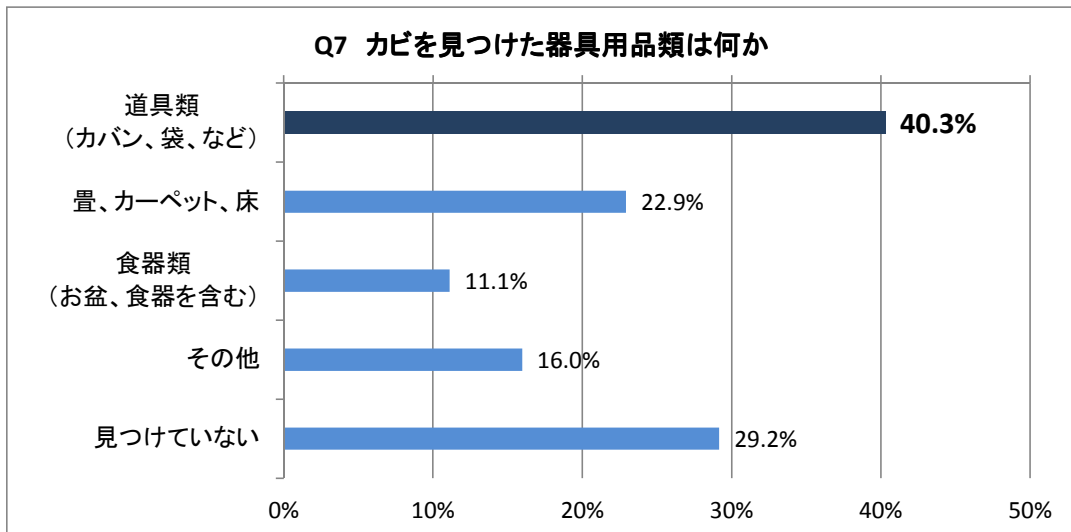


**Q6** 『カビを見つけた場所はどこか』たずねたところ（複数回答可）、「風呂場」が9割を超え、最も多い回答になりました。次いで、「台所（冷蔵庫、まな板などの器具用品を含む）」が約5割で、水周りで多くカビが発生していることが、見受けられました。



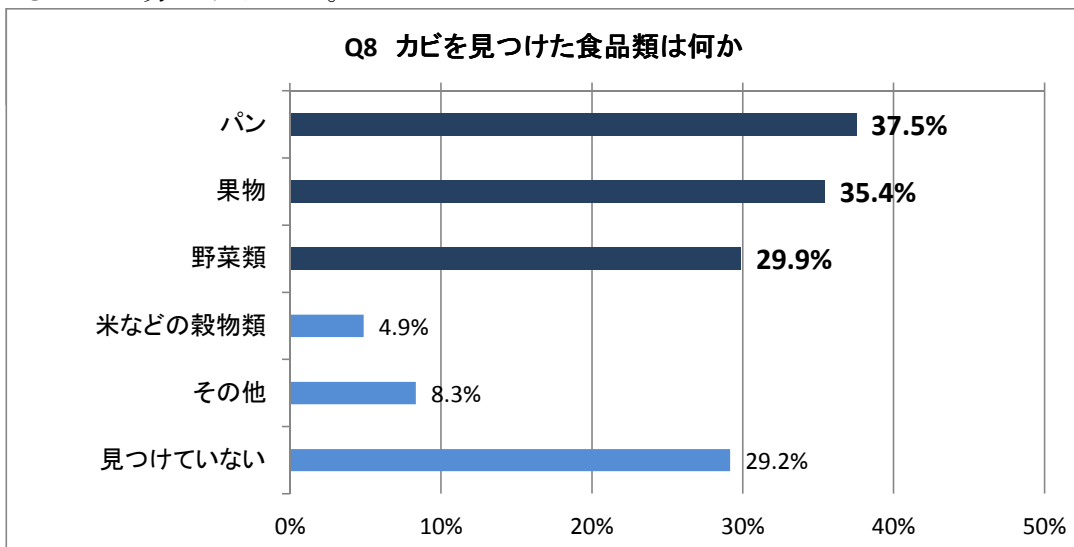
※その他では、「洗面所」、「リビング」などが挙げられました。

**Q7** 『カビを見つけた器具用品類は何か』たずねたところ（複数回答可）、  
「道具類（カバン、袋など）」が約4割で最も多い回答となりました。また、「畳、カーペット、床」が2割台、「食器類（お盆、食器を含む）」が約1割だったほか、衣類や靴といった回答も少数ですが見受けられました。



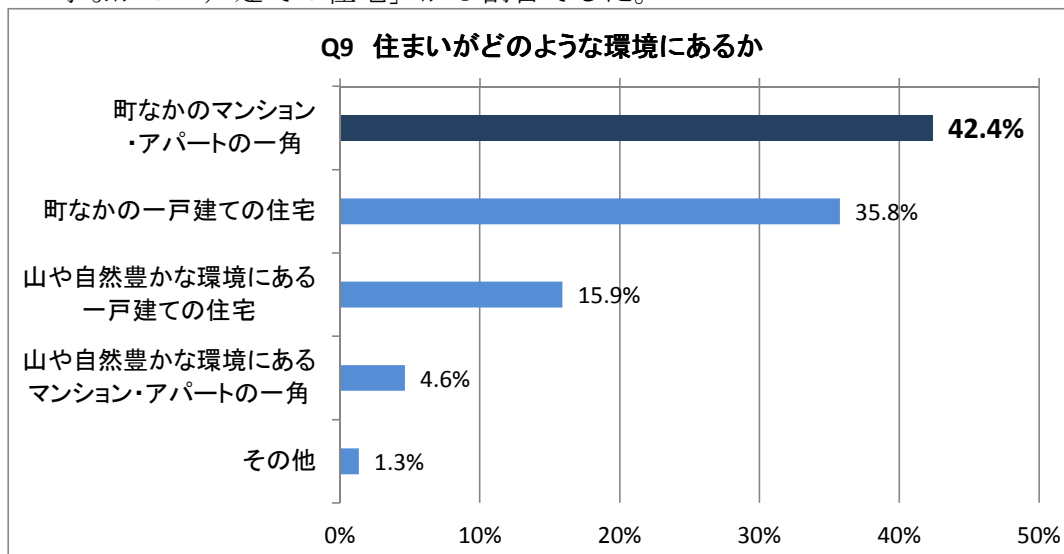
※その他では「衣類」、「靴」、「エアコン」、「加湿器」などが挙げられました。

**Q8** 『カビを見つけた食品類は何か』たずねたところ（複数回答可）、「パン」が4割近くあり、最も多い回答になりました。次いで、「果物」が3割台、「野菜類」が約3割となり、パンや生鮮食品に多くのカビが発生していることが分かりました。



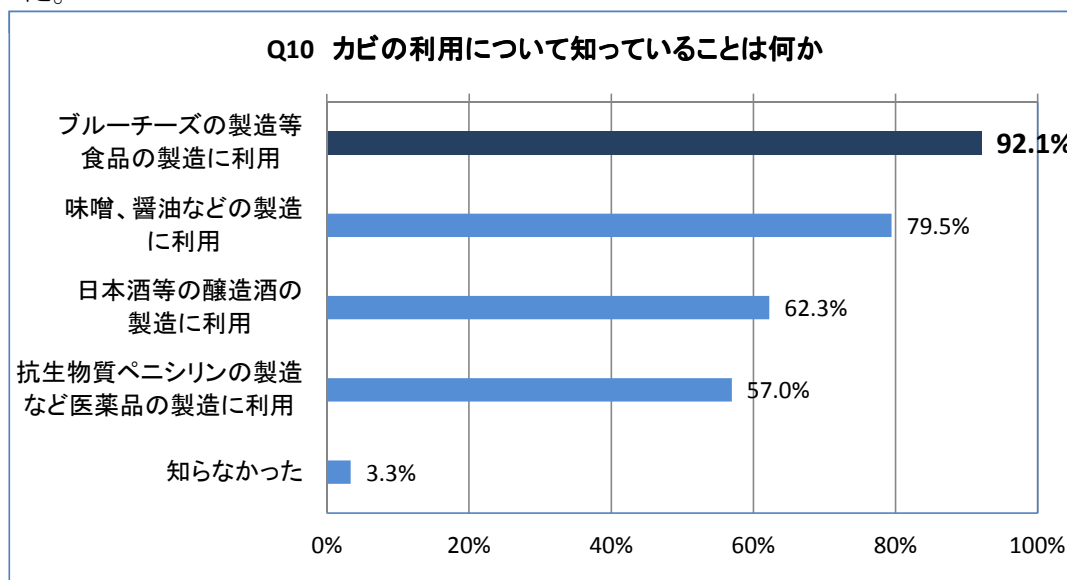
※その他では「ジャム」「ヨーグルト」「チーズ」「もち」などが挙げられました。

**Q9** 『住まいがどのような環境にあるか』たずねたところ、「町なかのマンション・アパートの一角」が4割を超えて、最も多い回答でした。次いで、「町なかの一戸建ての住宅」が3割台でした。

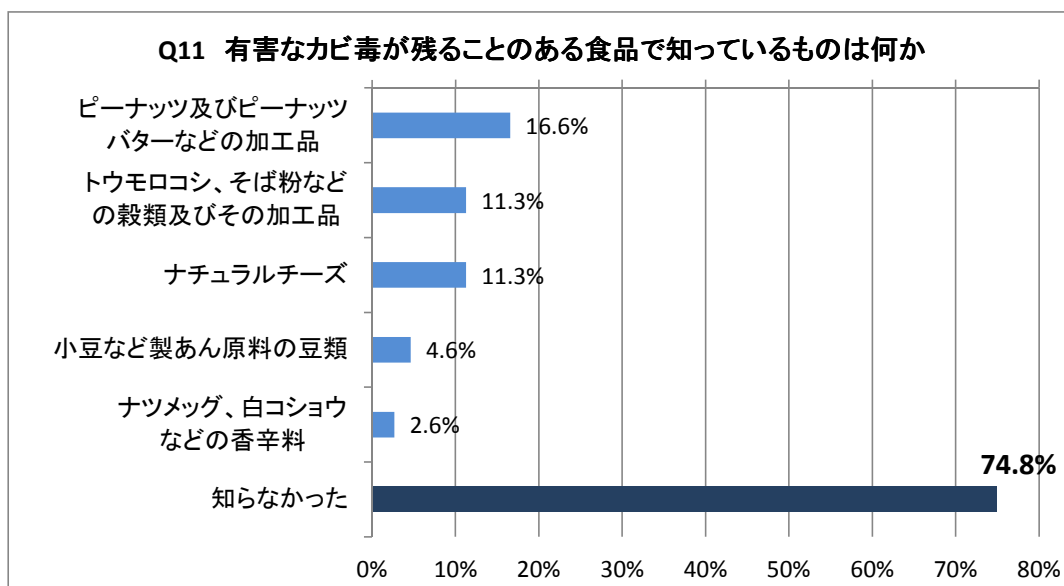


## 2 カビに関する知識について

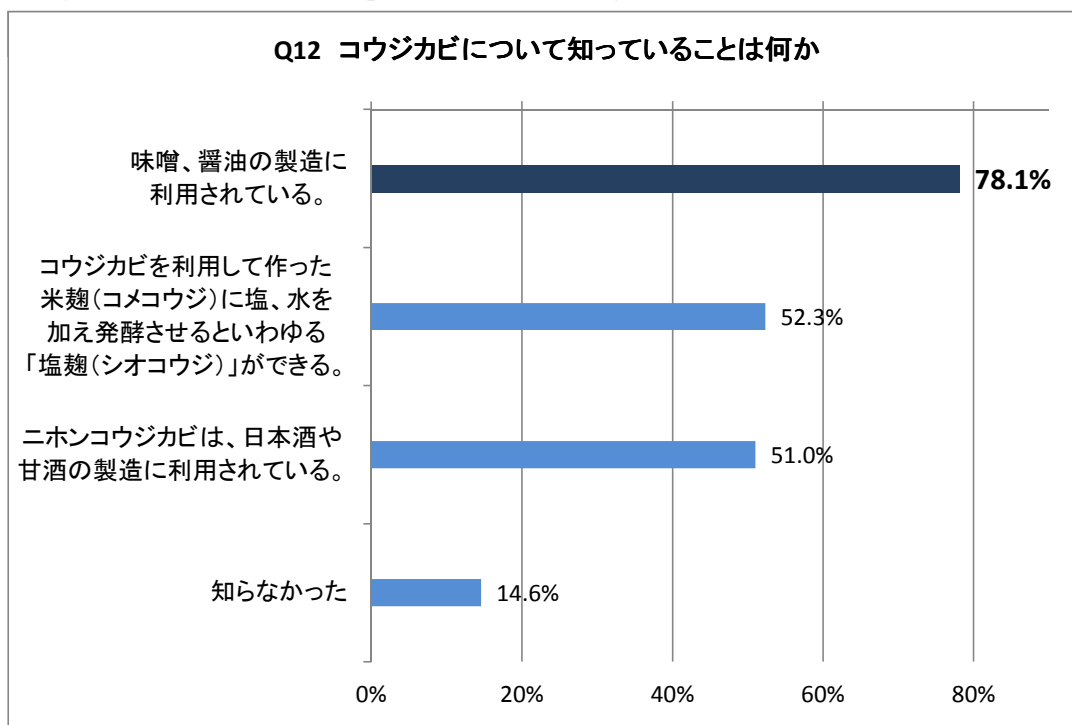
**Q10** 『生活の中で様々な利用されているカビについて、知っていることは何か』たずねたところ（複数回答可）、「ブルーチーズの製造等食品の製造に利用」が9割を超えて最も多く、次いで「味噌、醤油などの製造に利用」が約8割となりました。また、すべての項目で5割を超える認知度があり、多くの方が食品に利用されるカビについて知識を持っていることが分かりました。



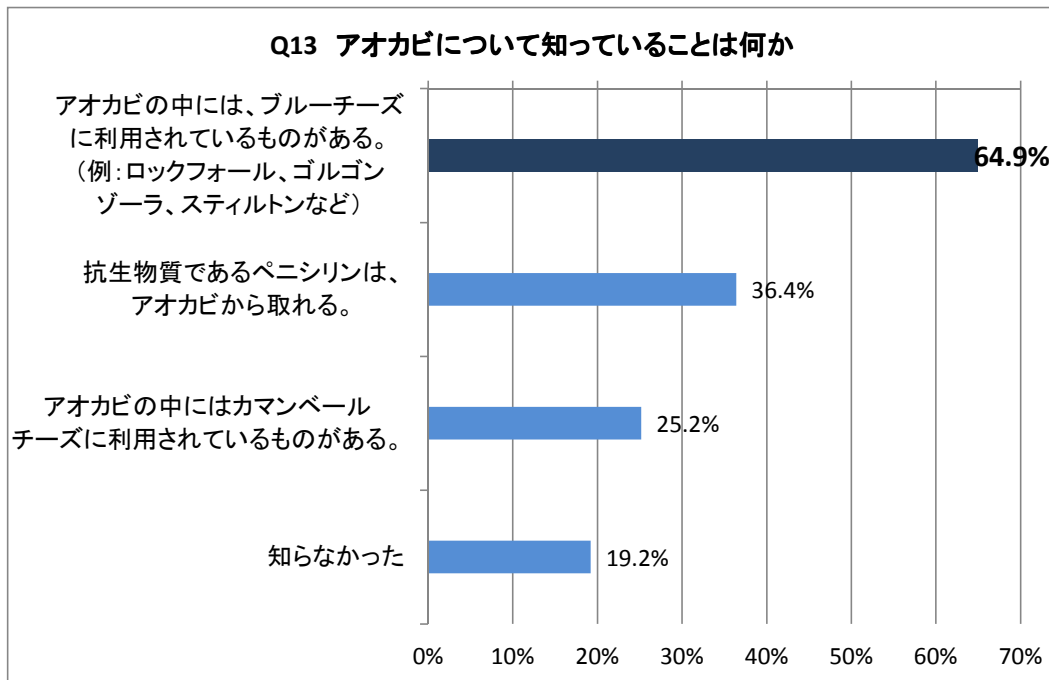
**Q11** 『有害なカビ毒が残ることのある食品で知っているものは何か』たずねたところ（複数回答可）、「知らなかった」が7割台で最も多い回答になりました。他すべての項目で認知率は2割以下であり、多くの人はカビ毒に関する知識を持っていないことが分かりました。



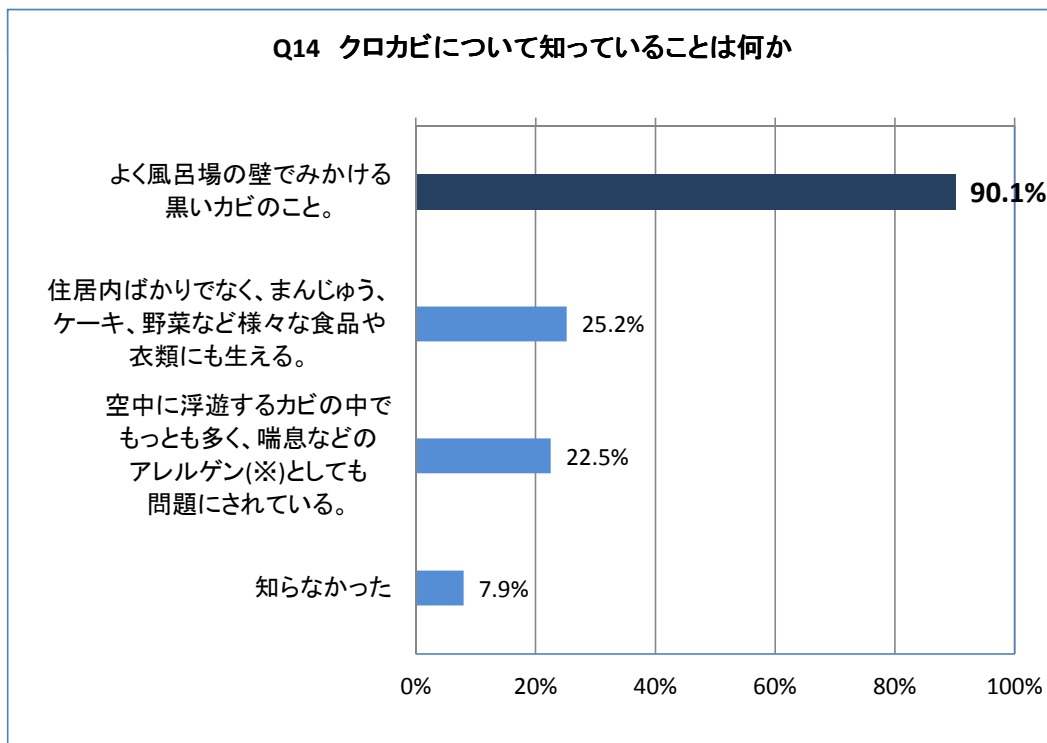
**Q12** 『代表的なカビのひとつであるコウジカビについて、知っていることは何か』たずねたところ（複数回答可）、「味噌・醤油の製造に利用されている」が7割台で最も多くなりました。次いで「コウジカビを利用して作った米麴を発酵させると塩麴ができる」、「ニホンコウジカビは、日本酒や甘酒の製造に利用されている」が5割台でした。



**Q13** 『代表的なカビのひとつであるアオカビについて、知っていることは何か』たずねたところ（複数回答可）、「ブルーチーズに利用されているものがある」が6割台で最も多い回答になりました。次いで「抗生物質であるペニシリンはアオカビから取れる」、「アオカビの中にはカマンベールチーズに利用されているものがある」が続いています。



**Q14** 『代表的なカビのひとつであるクロカビについて、知っていることは何か』たずねたところ（複数回答可）、「よく風呂場の壁でみかける黒いカビのこと」が9割を超えて最も多い回答になりました。



※アレルギー：アレルギー症状を引き起こす物質や環境のこと



### 3 自由意見

**Q15** カビについて自由な意見を求めたところ、51名の方から意見をいただき、「カビに悩んでいる」という要旨の回答が19件で最も多くなりました。他には、「カビに対する対処方法を知りたい」、「カビについて正しい知識を得ることが必要」という趣旨の回答も多く、カビに関する情報を得て、生活に生かしたいと感じている方が多いことが見受けられました。

自由意見（要旨）	回答数
カビに悩んでいる	19
カビに対する対処方法を知りたい	5
カビについて正しい知識を得ることが必要	5
選択肢をよんでカビについて知ることができた	5
カビの発生に日ごろ気をつけている	4
カビを防止する商品についての意見	4
有害なカビと無害なカビの見分け方を知りたい	2
カビに関する情報を知りたい・広報で知らせてほしい	2
その他	5

うち9件風呂場のカビ

## 第3章 まとめ

### 1. 家庭で見つけたカビについて

151名の回答者のうち、9割以上の144名が「自宅でカビを見つけたことがある」と回答し、ほとんどの回答者が自宅でカビを見つけたことがあることが分かりました。

自宅で見つけたカビの色については、「黒いカビを見つけたことがある」が8割以上を占め、多くの回答者の自宅でクロカビが発生していることが分かりました。次いで、「白」「赤色」が3割台で多く見られました。

カビを見つけた時期は、「夏（6，7，8月）」が7割を超えて最も多い回答となりました。「春（3，4，5月）」の4割台の約1.6倍となっており、気温があがるとともに、カビが発生しやすくなっていることが見受けられました。

カビを見つけた場所は、「風呂場」が9割を超え、ほとんどの回答者が風呂場でカビを見つけていることが分かりました。次いで、「台所（冷蔵庫、まな板などの器具用品を含む）」が約5割で、水周りで多くカビが発生していることが、見受けられました。

カビを見つけた器具用品類については、「道具類（カバン、袋など）」が約4割で最も多く、「畳、カーペット、床」が2割台、「食器類（お盆、食器を含む）」が約1割だったほか、衣類や靴といった回答も少数ですが見受けられました。

カビを見つけた食品類は、「パン」が3割台で最も多い回答になりました。次いで、「果物」も3割台、「野菜類」が約3割となり、生鮮食品に多くのカビが発生していることが分かりました。

回答者の住まいの環境については、「町なかのマンション・アパートの一角」が4割を超え、次いで、「町なかの一戸建ての住宅」が3割台となっています。

### 2. カビに関する知識について

生活の中で利用されているカビについて回答者が知っている知識としては、「ブルーチーズの製造等食品の製造に利用」が9割を超えて最も多く、次いで「味噌、醤油などの製造に利用」が約8割で多くなりました。また、すべての項目で5割を超える認知度があり、多くの回答者が食品に利用されるカビについて知識を持っていることが分かりました。

カビには、まれに、人体に有害な毒素を産生し、食品に残留するものもありますが、カビ毒が残

ることのある食品で知っているものをたずねたところ、「知らなかった」が7割台で最も多い回答になりました。一方、「ピーナッツ及びピーナッツバターなどの加工品」が1割台など、他すべての項目で認知率は2割以下となっており、多くの回答者はカビ毒に関する知識を持っていないことが分かりました。

コウジカビについて知っていることとして、「味噌・醤油の製造に利用されている」が回答の7割台で最も多くなりました。次いで「コウジカビを利用して作った米麴を発酵させると塩麴ができる」、「ニホンコウジカビは、日本酒や甘酒の製造に利用されている」が5割台で多くなりました。

アオカビについて知っていることとして、「ブルーチーズに利用されているものがある」が6割台で最も多い回答になりました。次いで「抗生物質であるペニシリンはアオカビから取れる」、「アオカビの中にはカマンベールチーズに利用されているものがある」が多くなりました。

クロカビについて知っていることとして、「よく風呂場の壁でみかける黒いカビのこと」が9割を超えて最も多い回答になりました。また、家庭内で発生することの多いクロカビですが、クロカビについて「知らなかった」とする回答も少数ですがありました。

### 3. 自由意見・まとめ

自由意見として、51名の回答者からカビに関する意見をいただき、「カビに悩んでいる」という趣旨の回答が19件と最も多い意見になりました。また、19件のうち9件は風呂場のカビに関するもので、多くの回答者が水周りのカビに悩まされていることが分かりました。また、「カビに対する対処方法を知りたい」、「カビについて正しい知識を得ることが必要」、「有害なカビと無害なカビの見分け方を知りたい」「カビに関する情報を知りたい・広報で知らせてほしい」という趣旨の回答も多く、カビに関する情報を得て、生活に生かしたいと感じている回答者が多くいることが見受けられました。

#### [参考]

自由意見で、カビに関する情報について知りたいというご意見がありましたので、主な質問について回答します。

(1) カビの除去のための商品として何を使えばよいか。

日本食品衛生協会では、次亜鉛素酸ナトリウム製剤を紹介しています。水で希釈してから、

噴霧や布に染み込ませて使用します。

(2) 風呂場などに発生するしつこいカビはどのようにして除去するか。

表面的なカビは、薬剤等を使用して物理的にそぎとれば取ることができます。しかし、風呂場には、カビの発育に必要な水分、栄養、温度及び酸素が充分にあるため、除去したと思ってもすぐにまた発生することが考えられます。日ごろから湿気の除去に配慮しましょう。

(3) 有害なカビと無害なカビの見分け方を知りたい。

実際にご家庭で発生したカビの種類を判別することは、困難と思われます。

鑑定を希望する場合、民間の検査機関に依頼する方法がありますが、検査を受けるにあたっては、採取に関していろいろな条件があったり、費用も高額になることが一般的です。

カビに関する詳細な情報については、下記の関係省庁のホームページや図鑑等から得ることが出来ますので参考にしてください。

○文部科学省 HP「カビ対策マニュアル」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/sonota/003/houkoku/08111918/002.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sonota/003/houkoku/08111918/002.htm)

○農林水産省 HP「かびとかび毒についての基礎的な情報」

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk\\_analysis/priority/kabidoku/kiso.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/kabidoku/kiso.html)

(4) カビが人間の体に与える影響について知りたい。

カビを吸い込むことによって、アレルギーやぜんそくを引き起こす可能性があるほか、まれに食品にカビ毒が残っていた場合、その食品を食べることで、食中毒を起こす可能性もあります。すべてのカビがカビ毒を出すわけではありません。人や家畜に健康被害を起こした事例のあるカビは、非常に限られています。国内では、カビ毒のうち食品中のアフラトキシン等について、規制がもうけられています。

(5) カビが発生しにくい商品にはどのようなものがあるか。

食品で言えば、「乾パン」などの水分活性（食品中で微生物が利用できる水分の量）の少ないものはカビが発生しにくいです。

(6) 輸入食品についてはカビの検査はされているのか。

輸入食品のカビの検査は検疫所において行われています。